



3月12日(月)13日(火)14日(水) JAセレサ川崎杯 創立20周年記念サンケイスポーツ杯争奪戦

FI

金子が総合力でリード!

3月14日から開催される川崎競輪F1は今シーズン初のナイターで行なわれるJAセレサ川崎杯サンスポ杯。シリーズの中心となるのは金子貴志(愛知75期)で、中近勢がやや手薄なため恐らく自力中心の戦いとなりそう。注目されるのは地元の小原太樹(神奈川95期)。南関東で唯一のS1となるが、地元ホームバンクでの戦いぶりに期待したい。戦力整う北日本勢の中核は高橋陽介(青森89期)で、近況のデキもよい。西日本勢は山田庸平(佐賀94期)が自力自在の総力戦で優勝戦線に食い込めるかどうかがポイント。

A級戦も西日本からの遠征勢が加わる東西戦。今節は地元の小島歩(神奈川97期)の活躍に期待がかかる。自力基本の立ち回りになりそうだが、位置取りの上手さには定評がありVチャンスは逃さない。関東勢は宮下貴之(埼玉81期)―黒崎直行(栃木57期)のベテランコンビ、北日本勢は新鋭の酒井雄多(福島109期)が怖いところ。中近勢は攻め幅広い白上翔(滋賀95期)が軸。西日本はやや戦力手薄だが発ある市本隆司(広島72期)や芳野匠(愛媛93期)、佐方良行(熊本97期)あたりは当所向きか。

S級主力選手

金子 貴志

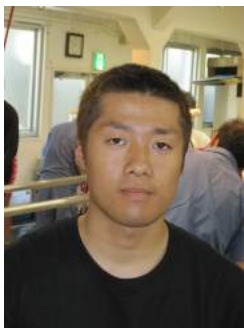
愛知75期



シリーズの主役は金子貴志。近況は番手回りの機会も多くなっているが、まだまだ自力でも戦える脚力は十分にある。年齢的には42歳とベテランの域にあるが、高いスプリント能力は輪界でも屈指。高地トレニングなどを積極的に取り入れて、この金子を頼りに更なるレベルアップを求めて訪れる若手も少なくない。2月高松の落車に影響したのかこの2場所は優秀な外ししているが、前回の静岡記念は番手回りとはいえずGP王者浅井康太(三重90期)の仕掛けにしっかりと対応して追走している。致命的な影響は無いとみる。中近勢の自力選手が手薄な今節は恐らく自力での戦いが中心となるだろうが、ここまで日程は空くの練習も体のケアも十分にできるはず。実績上位の金子がハイレベルな走り、を披露してくれるだろう。

小原 太樹

神奈川95期



地元エースとして参加するのが小原太樹。この2、3年で頭角を現してきて、GIへの参加も増えてきている。S級での優勝も既に4度達成しているし、中団捲り基本に流れに合わせた走りで見ても確立してきている。後手を踏まない組み立てでマークする選手からの支持も増えている。南関東でも存在感は増してきている。しかしながら、昨年後半からは負傷、病気で欠場機会が増え、状態の不安定さは否めない。直前の岸和田初日でも落車と、流れの悪い状況が続いている。大事に至らないことを願うばかりだが、地元ホームバンクでの気合いで状態をリカバリーして欲しいところ。今年5月には地元神奈川、平塚で行なわれる日本選手権の出場も決まっている。この地元戦をいい形で乗り切り、弾みをつけて欲しいところだ。

高橋 陽介

青森89期

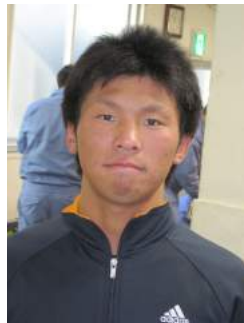


優勝争いの角に名乗りを挙げるのは高橋陽介。近年は自在型としてスタイルを固めつつあり、グレレードレースでも強気な攻めを見せる場面も増えてきた。シビアな位置取りはもろろんのことだが、ここまでという場面で積極的に駆けて出ることも少なくない。持久戦でも戦える脚力を残しつつ、順調にスタイルチェンジを果たしてきた。ここ数年は冬場に小田原競輪場へ冬期移動しており計画的なコンディション作りに徹しているし、年間を通して大崩すことがない。直前は小田原で優勝を逃がしているが、初日特選は佐藤慎太郎(福島78期)を連れて積極策に出ているし、準決勝で惜しくも4着に敗れたがシビアな前々勝負で魅せた。好調な齋藤登志信(宮城80期)や、機動力ある根本哲吏(秋田97期)、佐藤明也(秋田89期)、日当泰之(青森92期)らと同乗すれば層も厚くなり更に優勝への可能性は高まる。

A級主力選手

小島 歩

神奈川97期



地元神奈川の中心となるのはこの小島歩だ。パワフルな自力で地元を沸かせてきた小島寿昭(神奈川92期)を父に持つ2世選手。S級への昇降級を繰り返してはいる近年だが、いまは追込みへ戦法をチェンジしつつの自在戦でA級を戦っており、状態も上向きである。前々回の平塚では準決勝で関根健太郎(神奈川100期)の逃げを残せなかった悔しさを滲ませたが、決勝戦では川田忍(神奈川87期)目標から狭いコースをこじ開けて準優勝を果たした。前回は奈良でのミッドナイト競輪で7車立ての戦い。準決勝では乗りに乗っている愛媛の新鋭野田典嗣(愛媛109期)を先捲りで併せ切つての勝利を挙げている。追込み型としての課題はまだ残しつつも、タテ脚はA級で上位クラス。

酒井 雄多

福島109期



成田和也(福島88期)に師事する期待の若手。持ち味は高いスプリント力だが積極的なレースに徹してめきめきと力を付けている。既に1、2班での優勝も達成。順調にステップアップしてきたが昨年12月に落車のアクシデントに遭った。これが初めの落車、初めての鎖骨骨折と重なった。約2ヶ月の戦線離脱を余儀なくされたが、2月の地元平塚でのレースで復帰。積極的なレース運びはしたものの末脚を欠いた。前走小田原の初日も先行したのが着。準決勝は単騎戦となったが、最後方から自分のタイミングで仕掛けて豪快に捲り切った。決してラクではない相手のなかでの1勝。もうタッチシ方の時の末脚がまだ大丈夫です。また積極的に仕掛けて戻していくしかない」とレース後に語る内容には目先の勝利よりも逃げて強い選手を目指す強い意志が見えた。



URBAN BANK
かわさきケイリン

予想氏名	◎金子貴志	▲小原太樹	○高橋陽介	中野彰人	×山田庸平	岡光良	注齋藤登志信	室井健一	根本哲吏
府県	愛知	神奈川	青森	和歌山	佐賀	埼玉	宮城	徳島	秋田
期別	75	95	89	93	94	94	80	69	97
級別	S1	S1	S1	S2	S1	S2	S1	S2	S1
1着	8回	1回	1回	4回	7回	1回	5回	1回	5回
2着	2回	1回	1回	4回	4回	3回	3回	2回	3回
3着	2回	1回	1回	5回	1回	2回	2回	3回	4回
着外	9回	10回	20回	10回	13回	10回	17回	7回	15回
失格	1回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回
出走回数	22回	21回	33回	26回	24回	19回	14回	27回	27回
勝率	36.30%	4.70%	24.20%	26.90%	16.60%	5.20%	18.50%	7.10%	18.50%
連対率	45.40%	28.50%	36.30%	42.30%	33.30%	21.00%	29.60%	21.40%	29.60%
3連対率	54.50%	47.60%	39.30%	61.50%	37.50%	17.30%	37.00%	42.80%	44.40%
H数	2回	3回	5回	0回	1回	0回	0回	0回	8回
B数	3回	4回	5回	0回	0回	0回	0回	0回	9回
競走得点	111.85	105.35	107.60	106.84	103.90	105.94	107.77	106.00	103.81

決勝想定メンバー